

年 月 日

仕様書番号：FKSC-4D

# 仕 様 書

御 中

JIS C 3501-1993

品 名：高周波同軸ケーブル

富士電線株式会社  
甲府工場 通信技術課

TOKYO FUJI

## 高周波同軸ケーブル

本仕様書は、高周波用機器の接続及び内部配線に使用する、ポリエチレンを絶縁体とし、外部導体に軟銅線編組を用い、ビニル被覆した高周波同軸ケーブルについて定めたものである。

但し、ケーブルの使用温度範囲は-15～+60℃までとする。

引用規格：JIS C 3501-1993

## 1. 品 種

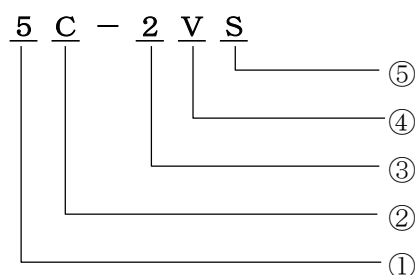
適用品種を表1に示す。

表1

品 名
3C-2V
3C-2W
5C-2V
5C-2VS
5C-2W
7C-2V
7C-2W

<備 考>

(例)



①の数字

外部導体の概略内径を mm 単位で表したものの

②の文字

C：特性インピーダンス 75Ωのもの

③の数字

2：ポリエチレン充実形

④の文字

V：外部導体が一重でビニル外被を施したもの

W：外部導体が二重でビニル外被を施したもの

⑤の文字

S：内部導体が撚り線のもの(品名の①②が同一サ

イズの場合に内部導体が単線のものとは区別するため)

## 2. 構造

2.1 内部導体 以下のものを使用する。

2.1.1 軟銅線:JIS C 3102-1984 に規定された電気用軟銅線を用いる。(表 2 参照)

2.1.2 軟銅撚線:JIS C 3102-1984 に規定された電気用軟銅線を撚合わせたものを用いる。(表 2 参照)

2.2 絶縁体 2.1 項の上に PE(自然色)を表 2 に示す標準厚さで一様に被覆する。

2.3 外部導体 2.2 項の上に軟銅線編組を表 2 に示す素線で均一に施す。 密度:約 95%

2.4 外被 2.3 項の上に PVC を表 2 に示す標準厚さで一様に被覆する。

外被色:黒、灰

2.5 仕上外径 表 2 参照

2.6 概算質量 表 2 参照

2.7 標識 ケーブルの適当な位置に製造社名略号等を連続印刷する。

## 3. 完成品検査

(1)外観 (2)構造 (3)導通 (4)5 項の電気特性

4. 荷造り ケーブルは、1 条づつをタバ又はドラム巻とし運搬中損傷しないように適当な荷造りを施す。

表2 構造表

品名	内部 導体 (本/mm)	絶縁体		外部導体I 素線径 (mm)	外部導体II 素線径 (mm)	外部導体III 素線径 (mm)	外 被 標準厚 (mm)	仕上外径 (mm)	概算質量 (kg/km)
		標準厚 (mm)	標準径 (mm)						
3C-2V	1/0.50	1.30	3.1	0.14	—	—	0.8	5.4±0.5	43
3C-2W	1/0.50	1.30	3.1	0.14	0.14	—	1.0	6.5±0.5	69
5C-2V	1/0.80	2.05	4.9	0.14	—	—	0.9	7.4±0.5	72
5C-2VS	7/0.26	2.01	4.8	0.14	—	—	0.95	7.4±0.5	72
5C-2W	1/0.80	2.05	4.9	0.14	0.14	—	1.0	8.3±0.5	107
7C-2V	7/0.40	3.05	7.3	0.18	—	—	1.1	10.4±0.5	139
7C-2W	7/0.40	3.05	7.3	0.18	0.18	—	1.1	11.3±0.5	195

## 5. 電気特性 (20℃)

品名	内部導体 導体抵抗 (Ω/km)以下	耐電圧 V/1分間	絶縁抵抗 (MΩkm)以上	静電容量 at 1kHz (nF/km)	特性インピーダンス at 10MHz (Ω)	標準減衰量 at 10MHz (dB/km)
3C-2V	91.4	AC 1,000	1,000	67±3	75±3	42
3C-2W	91.4	〃	〃	〃	〃	42
5C-2V	35.9	〃	〃	〃	〃	27
5C-2VS	50.2	〃	〃	66±3	〃	33
5C-2W	35.9	〃	〃	67±3	〃	27
7C-2V	20.7	〃	〃	〃	〃	22
7C-2W	20.7	〃	〃	〃	〃	22

最大減衰量は、標準の115%以下